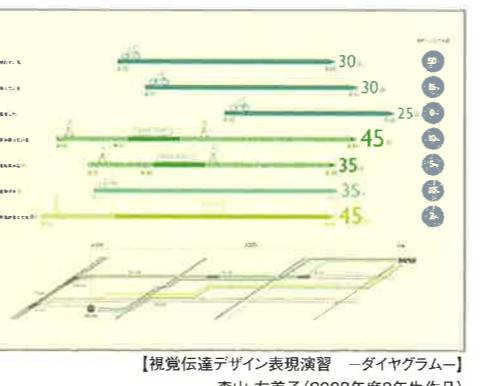
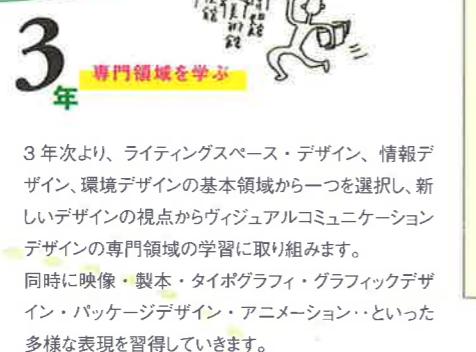
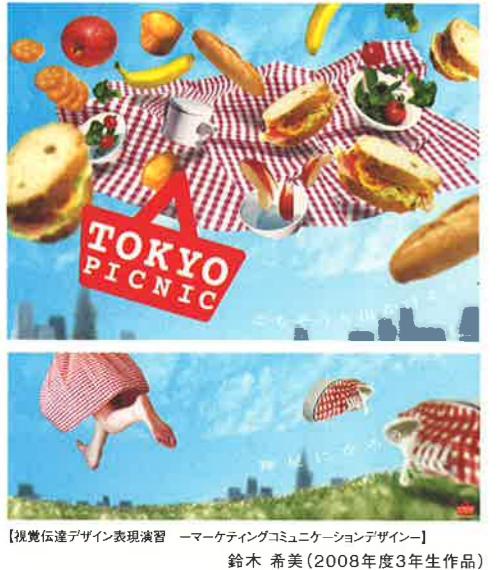


視覚伝達デザイン学科の4年間

「視デって…なんかムズカシイことをやっているらしい」「なかなか実技の授業がないらしい」「…でも広告とかもつくれるらしい」「絵を描けないって聞いたけど…」etc…
このパンフレットを手にとったあなたは、どんなイメージを持っていますか？
「視デって何してんの??」少なからずそう思いながら入学してきた在学生たちは、デザインを学ぶ上でぶつかる様々な疑問や戸惑い、そしてつくる喜びとが入り交じる混沌とした日々の中、ときには1人で、ときにはクラスメイトと、またときには大学を飛び出し「社会」で生きる人たちと一緒に考え、手を動かして、作品をつくっています。

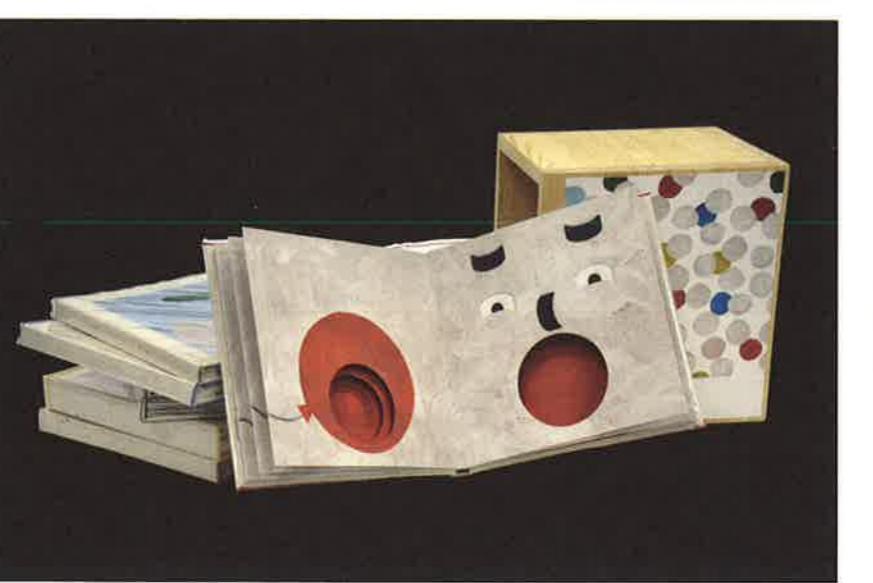
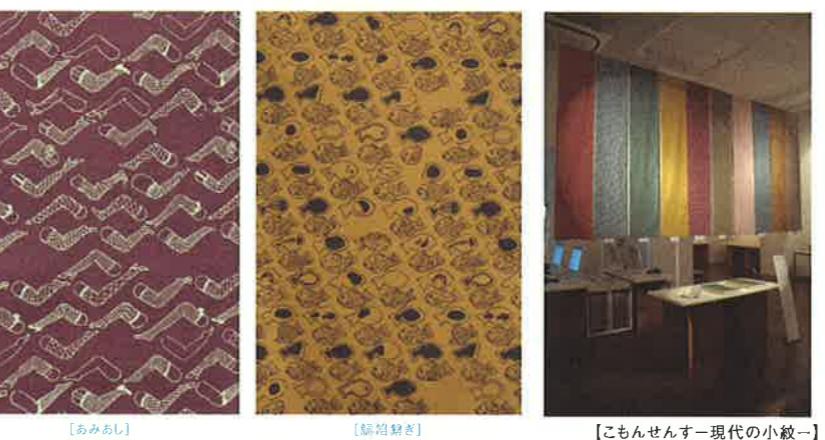
そんなワケで、
4年間の「視テ」の様子を
カケアシではありますが、ご紹介します。





4年
【卒業制作】
これまで学習してきた事柄、新たに挑戦したい
テーマなどを選び、約1年間かけて取り組みます。

一生で、「今までできることが、
できないことが、
視点には山ほどある！」



future
視覚伝達デザイン学科の卒業生は広告制作、商品企画、出版放送業界から
教育や福祉に至まで様々な分野の第一線で活躍しています。

- インターフェースデザイン
- エディトリアルデザイン
- パッケージデザイン
- CMプランナー
- カラーコーディネート
- 商品企画
- カメラマン
- 映像編集
- イラストレーター
- アドバイジングデザイン